

平成27年度より実施

病児保育施設等利用助成制度の利用対象を女性医員にも拡大します

平成25年度より、女性研究者の研究活動と育児の両立を支援するため、病気治療中又は病
気回復期にある子を保育施設に預ける場合の利用料に対する費用の助成を行っています。



平成27年度から、病児保育施設等利用助成制度の利用対象を女性研究者に加え、女性医員にまで拡大することになりました。詳しい募集要項等に関しては、1月中旬頃にご案内させて頂く予定です。育児をしながら研究、診療に取り組まれている研究者や医員の方は、是非ご検討下さい。

「男女共同参画推進功労者表彰制度」を制定しました。

本学における男女共同参画に対する一層の意識向上を図り、また、男女共同参画の促進及び将来の学術研究を担う優秀な女性研究者の育成に資するため、このたび「男女共同参画推進功労者表彰制度」を制定しました。3月ごろに表彰式を開催する予定です。

【男女共同参画推進功労賞】

男女共同参画の推進に積極的に取り組み、顕著な功績があった教員等

【研究者奨励賞（男女共同参画）】

男女共同参画の推進に積極的に取り組み、あるいは優れた研究活動を行った女性教員等



12/24（水）に、ランチミーティングを開催します！

12月の交流サロンでランチミーティングを開催致します。

途中参加・退出もOKなので、お気軽にご参加下さい。

日時：12月24日（水） 11：30～13：30

（昼食代1,000円 当日集めます。）



《発行元》

男女共同参画推進センター（内線：文京2206）E-mail danjyo@ml.cii.u-fukui.ac.jp

NEWS LETTER

福井大学 男女共同参画推進センター第8号 H26.12発行

男女共同参画についての意識調査アンケートについて

平成26年10月に昨年に引き続き教職員を対象にアンケート調査を実施しました。これは、男女共同参画に対する意識の向上及び働きやすい職場環境をつくることを目的として行ったものです。

アンケートにご協力いただいた皆様、ありがとうございました。アンケート結果については、後日報告させていただきます。是非ご覧ください。



平成26年度男女共同参画推進センターシンポジウムを開催しました

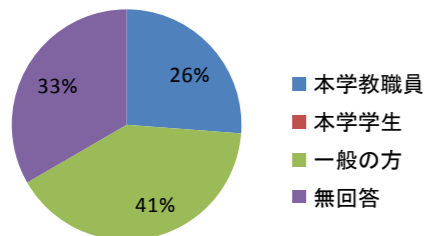
男女共同参画推進センターは、男女共同参画推進及び女性研究者支援に関する啓発を目的として10月28日（火）にアカデミーホールにて平成26年度男女共同参画推進センターシンポジウムを開催し、約75名が参加しました。シンポジウムでは上田孝典センター長の開会挨拶の後、2014年「ダイバーシティ経営企業100選」に選ばれた帝人株式会社の日高乃里子氏による講演「ダイバーシティの必要性について～多様な人材の能力を活かして組織の力にする～」が行われました。企業においてダイバーシティを促進することの意義、帝人グループのダイバーシティ推進の取り組みや女性活躍などについて説明され、またその経営効果について具体的な事例を交えながらご講演頂きました。引き続き行われたパネルディスカッションでは、企業の女性管理職や女性研究員、県立大学教授をパネリストとして迎え、ダイバーシティの推進についてそれぞれからご意見を頂き、会場からの質問に答えるなどして有意義な意見交換が行われました。

今後も男女共同参画推進センターは、県内外の関係機関とも連携を深め、啓発活動に努めていきます。

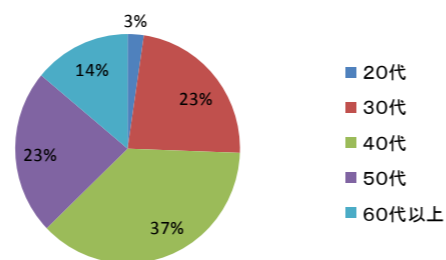


平成26年度男女共同参画推進センターシンポジウム参加者からのご意見・ご感想

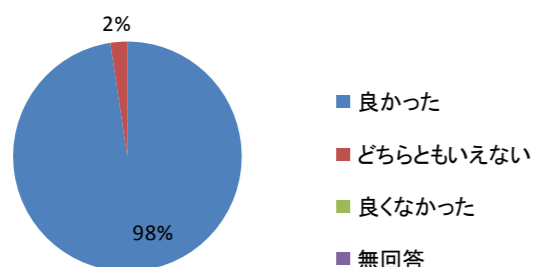
職業



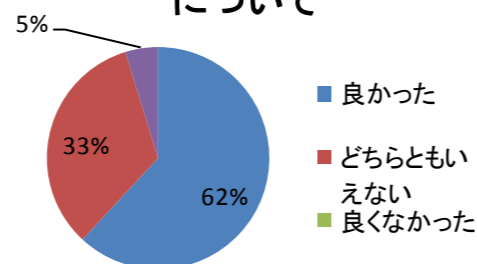
年齢



講演内容について



パネルディスカッションについて



《講演内容についての感想》

- ◆会社が本気で女性活躍を後押しされている実例を初めてお聞きする機会となりました。女性もライフイベントをマイナスに感じることなく、前向きに仕事に取り組めることは意欲の向上にもつながり素晴らしいと思います。(50代・女性・本学教職員)
- ◆ダイバーシティに関する取り組みを企業理念の柱のひとつとしているとのお話で、今後企業で女性が活躍するには個人の力のみでは限界があること、また男性の中で奮闘する先人があってこそ女性の社会進出の道がひらけることが分かりました。(30代・女性・本学教職員)
- ◆民間企業で、具体的な経営目標として取り組み、成果を出していることに驚き、習う点がたくさんあると感じました。(30代・女性・一般の方)

《パネルディスカッションについての感想》

- ◆多様な生き方があるいまの世の中で、男女の違いに関わらず、柔軟な姿勢で働くことを認め合うことが重要と感じました。(30代・女性・本学教職員)
- ◆福井に密着した女性の活躍に関するお話が聞けて大変興味深かった。福井は共働き率が高いが、女性がさらに活躍できる可能性も秘めていると思いました。(30代・女性・一般の方)

《シンポジウムに対するご要望・ご意見・ご提案》

- ◆女性が自分の持つ力を発揮し仕事に生きがいをもつためには、組織の制度も重要だが、やはり思いきり働ける時期があると思います。子育て期、介護している期間等、人生の1時期、大切な家族と悔いのないときを過ごし、働けるときには仕事に専念できれば理想的だと思います。仕事をいったんやめるのではなく、無理なく長く続けられる働き方が出来れば、女性はもっと活躍できるのではないかと思います。(30代・女性・本学教職員)
- ◆日高さんのお話は、とても参考になり、良い経験になりました。ありがとうございました。(30代・女性・一般の方)

「女子学生のためのキャリアアップ講座」を開催しました

11月14日(金)に「女子学生のためのキャリアアップ講座～自分らしく働くために～」を開催しました。講座には、福井県衛生環境センターの東方美保氏をお招きし、ご自身の進路決定までの経緯や現在の仕事内容等をお話頂きました。

「女性研究者研究活動支援事業シンポジウム2014」に参加しました



11月26日(水)に東京で行われた文部科学省主催の「女性研究者研究活動支援事業シンポジウム2014-女性研究者とダイバーシティ・マネジメント-」に男女共同参画推進センター副センター長とコーディネーターの2名が参加をしました。

当日は、講演、分科会、ポスター展示が行われました。採択機関が連携しシンポジウムを開催することにより、情報交換、ネットワークの構築、取組の連携した実施等を図る良い機会となりました。

HOKURIKU WOMAN RESEARCHERS NETWORK シンポジウムに参加しました

12月6日(土)に金沢大学主催の「HOKURIKU WOMAN RESEARCHERS NETWORK シンポジウム～若手女性研究者の活躍をめざして～」が行われ、連携機関である本学からも当センターから3名が参加しました。株式会社東芝デザインセンター参事 福島理恵子氏による基調講演、中村賞(金沢大学女性研究者賞)の授賞式・受賞者講演、パネルディスカッションに加え、研究写真展の展示が行われました。